

令和7年度 総合教育会議 兼令和8年2月定例会議事録

- 会議日時 令和8年2月16日（月）午後3時30分
- 会議場所 根羽村役場 第1、第2会議室
- 出席者 村長：大久保憲一、教育長：柳瀬賢司、教育長職務代理者：石原久明、
教育委員：片桐光代、根羽学園校長：馬島高志、根羽村保育所長：松下剛樹、
事務局：原田喜理子（子育て支援係長兼社会教育係長）、
石森智（総務学校教育係長）
（欠席者 教育委員：小澤寛樹、石原八重子）

1. 開会

（教育長）（資料に沿って説明）開会にあたり、この会議の位置づけですが、資料に総合教育会議の設置要綱をつけてあります。第3条に村長と教育委員会で総合教育会議は組織されることが書いてありまして、第5条に関係者の意見を聴取できると規定されていますので、校長先生と保育所長に参加してもらっています。

2. 村長挨拶

（村長）この会議は、首長部局と教育委員会の考えをすり合わせていく会議です。学びの村づくりと併せて人と経済が循環する村づくりも大事だと思っています。学びの村づくりは大人の様々な関りが大事です。学びの支援センターを来年度設置する予定です。教育振興基本計画等、教育委員会でも様々な事項について協議してもらっていると思いますが、本日も忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。議事進行は教育長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

3. 議事事項

なし

4. 協議事項（議長：教育長）

（1）第二次根羽村教育振興基本計画について

（教育長）（資料に沿って説明）第二次教育振興基本計画についてですが、少し長くなりますが説明させていただきます。校長先生と所長にもそれぞれ学校、保育所の箇所を説明していただきます。まず期間は令和8年から令和11年までです（資料「第二次根羽村教育振興基本計画」の冒頭部分を読み上げる）。

（校長）「こども」の箇所ですが、主に2つ、探求的な学びとICTについてです。使えるだけではなく、有効的な活用を第二期では実施して、オンラインでのまなびを模索していきたいと思っています。若手教職員が多いので、資質向上のため、職員研修の場を大事にしていきます。地域に貢献できる人材の育成。村で唯一の学校であるのに、地域の人との関係が希薄だと感じているので、地域に入り込んでいくことに注力したい。義務教育学校の良さを活かしたい。TOCO-TONの実践、キャリア教育、SDGsを更にブラッシュアップしていきたい。学校の特色、異年齢の学びを持続可能な取組みにしていきたい、このように思っています。

（所長）保育の推進の部分ですが、乳幼児期は脳や身体の発達の成長が顕著です。日常的な生活、着替え、食事、排泄ができること、子ども同士、先生同士のコミュニケーションが子どもたちの心身の成長に繋がっていきます。信州型保育、根羽だからできる自然保育に注力していきたいと思っています。畑活動や散歩で根羽を感じていただく、畑活動では更に栽培を通じて達成感を得てもらおう。一人ではできないので協力して集団活動によるコミュニケーションを養ってもらいます。音楽や英語といった多様な活動や距離的、人間性の近さを活かしてしっかり根羽学園と連携して、小1ギャップの解消にも努めていきます。保護者と家庭が安心して子育てに取り組めるように保育所が積極的に関わらせていただきたいと思っています。

(教育長) 環境整備の部分ですが、労働環境と労働条件の整備、計画の策定に努めて、どこが基になるのかを明らかにしておく必要があると思っています。また、研修を充実させて、キャリアアップにつながる素地をしっかりと作っていききたいと思います。保育所と学校の連携を密にして一層相互に交流を深めていきたいと考えています。社会教育の部分ですが、大人の学びには、社会教育の充実が必要だと思います。それに、未満児までの子育てサポート事業も必要です。放課後子ども教室、公営塾、くりやの活用、部活動の地域展開についても記載させていただきました。村民全員がPTAという文言を記載しました。大人と子どもが共に学ぶ学習者となって、公民館活動を展開して、新たな事業を実施していききたいと思います。親子留学制度では、社会性を育むなどのメリットがあり、保護者を含めた関係人口も増やしていきたいと思っています。最後に、「学びの村づくりをめざして」の部分ですが、小規模学校のメリットを活かして探究的な学習を目指すとともに、教育を核に、住民が主役となって村の活力を生み出していく仕組みを構築していきたいと思っています。村が一体となって、役場がサポーターとなって活動する。ハード面の整備も必要と考えています。以上が教育振興基本計画ですが、またご意見をいただければと思います。

(委員) これをどう具体的にやっていくかが大事で、でもそれが難しいですね。

(教育長) 教育支援センター長や校長、所長と話をしながら進めていきたいと思っています。部活動の地域展開等も学識者に来ていただいて、関心を高めていきたいし、地域参加授業も一層進めていきたいと考えています。

(校長) 教育振興基本計画の期間は5年ですか。

(教育長) 教育大綱の終わりに合わせて4年にしてあります。

(村長) 通常は学校、保育所については記載されますが、根羽の村民全体が関わっていて、学校と保育所に加えて、根羽の村民全体が関わってくるというのが本当に素晴らしいと思います。皆で頑張っていきましょう。

(校長) リーフレットのようなものを作りますか。

(教育長) 今のところ予算は取っていませんが、今後考えていきたいと思っています。

(委員) 写真が入ると分かりやすいと思います。

(委員) 村民全員がPTAという言葉が良いですね。

(村長) 村民全員がPTAで村民全員が子ども。全員が学んでいくことが大事だと思っています。

(委員) ICTについて、使うことはいいが、活用ができるのと良いというところがとてもいいなと思いました。教育長、学校、所長が密に連携を取っているのもとても良いです。そこに村民を巻き込んでいくことは難しい部分もあると思いますが出来たらいいですね。

(2) 根羽村立学校の教職員に関わる業務量確保・健康確保措置実施計画について

(教育長) (資料に沿って説明) 資料の働き方通信ですが、市町村教育委員会においては、業務量確保・健康確保措置実施計画を施行する必要があります。いつまでに何をするのかと言うと、7年度に計画を策定して、8年度からスタートさせる。研究会では、根羽で作成したものを提案させていただきました。次のページですが、進行計画に基づいて、これが実現できているかということが書かれています。現状、根羽の先生方がどのくらい働いているかを記載しています。時間外勤務を45時間以下にすることはクリアしています。目標は(1)の3つのポツです(該当箇所を読み上げる)。

(校長) 1か月あたり大体2時間の残業にするということですね。

(教育長) 冬休み、夏休みは大体定時になるので、平均では30時間で良いかなと思っています。資料のイ、ロ、ハですが、日常的な見守りはなかなかボランティアは難しいと思うので、有償で地域の方を募っても良いと思っています。ホームページなどは教師以外の方が外部委託でやっていても良いかと考えています。夏休み中のプール開放は業務委託。来年度は全体的に外部委託を検討していこうと思っています。校内清掃は有償ボランティアを検討して、9年度にスタートしたいと考えています。部活動の地域展開は後ほど説明させていただきます。教員業務支援員が来年度は村費対応になります。長時間労働者は医師の面談を実施します。全体的な成果の検証も行います。以上ですが、何か質問等ございますか。

(委員) 人員を増やしてやるしかない部分もあると思います。業務の見直しも大事ですが、外部委託できるところは外部委託すると良いかと思っています。

(校長) 働き方改革をすることで、子どもたちに還元することが目的と国は示しています。確保できた時間で子どもたちのことを考えることが主旨です。子ども達に掃除をやらせたいと考えている先生もいます。その考えは古いのかもしれませんが。教員も考え方を新しくしていく必要があると感じています。国が変われば文化も変わります。

(委員) ベトナムでは宿舎管理は管理者の仕事です。雪かきなどは住民はやらないと考えています。日本はそうではないと話してはいます。校長先生がしっかりそういう考えを持っていることに安心しました。周りの先生方に話をしていたいただけるとありがたいと思っています。

(教育長) 押し付けていくと納得できないところもあるので、根羽学園の中で一緒にやっていきたいということを話して、協働的に働いていただきたいということが大事です。折り合いをつけていきたい。昔はこういう風にやってきたは今は通用しません。TOCO-TON もやっているの、今言ったようにやっていければと思っています。よろしくをお願いします。

(3) 根羽学園 学校経営の反省

(校長) (資料に沿って説明) 成果と課題ですが、今年取り組んできたことをお話させていただきます。来年も継続してやっていきたいことですが、学びの場づくりが大事で、人数が減ってきていても、不登校傾向の子どもが増えてきています。養護教諭と話してきましたが、保健室登校では保健業務に支障をきたす状況です。今年度、1年生の教室を校内中間教室にし、安心できる場所としました。場所だけでなく、人的余裕が多少あるので、中間教室に入る教員も配置しました。昨年度まで、欠席30日だった子どもが解消されてきています。来年度も空き教室があるので設置する予定です。教室への復帰を目指すことが目的だと先生方に共有していきます。今年度は掃除をなくして下校時間を早くする日を設けましたが、来年度は空き時間を有効に活用することを考えていこうと思っています。その時間に地域の方が来てくれて一緒に将棋をやるなどでも良いと思っています。義務教育学校では校長、教頭が減ることで加配が2名ついているので、先生にも余裕が生まれています。教科担任制を前期課程まで広げました。先生ごとの教科の受け持ち数の差も今年度縮まりました。前期の子どもも後期の先生と関わることができています。TOCO-TONの取組みとして、異年齢の関わりを実施している。子ども達に少しずつ変容が見えてきています。どんな活動も狙いを明確にした取り組みをしていきたいと思っています。誰もが安心して参加できること、上級生を見て憧れの姿を持つことの2点を大事にしていきたいと思えます。学びの村づくりの一貫として、地域授業参観ではなく、地域授業参加を実施しています。栄村を参考にしました。これをどう地域に広げられるか考えていきたいと思っています。参加した地域の方は良い表情をしています。地域に広げることを来年度やっていきたいと思えます。課題は、地域の方の参加。自由に出入りできる場所の設置。来年度は先生方の平均年齢が更に下がりそうです。村の補助で、視察研修もやりやすいので、外に出て先生たちの学びを進めていきたいと思っています。インクルーシブについてもです。学校は授業が勝負だと思っています。授業の質を向上していきたいと考えています。

(村長) 風越学園を視察した時に印象的だった探究学習、個性ある学びができました。これを公立の学校に落とすのが課題だと思いましたが、形は違いますが根羽学園でも実践してもらっていると感じています。余白の時間を作るのは難しいと思えますが、色々なことを考えてやってほしいと思えます。

(教育長) 今後は異年齢との関わりから異年齢間の学びに発展できると良いと思っています。

(4) 根羽村保育所 経営の反省

(所長) (資料に沿って説明) 現在21名の子どもが在園しております。近隣村では多いほうです。保育課程に基づいて運営を行っております。山や畑に囲まれており、自然を意識した取り組みをしています。現在は、卒園、進級に向けた準備を行っております。年長児は学校で給食や清掃の体験をさせてもらっています。みんな入学を楽しみにしています。山保育を中心に活動し、自ら考えることを大事にしています。主には畑づくりや米づくり。小川の田んぼで泥遊びをして、同じたんぼで田植えをして、稲刈りをして、収穫したお米で家族で飯盒炊爨を行いました。8月には収穫した野菜を実際に販売しました。年長さんが声を出して販売しました。去年も来て楽しみにしていたというお客さんの声も聞きました。畑に行くと、虫を取ってきたりと子どもたちは色々楽しんでます。そりすべり、雪遊び、茶臼山での雪山探検も行いました。意図的に体を動

かすことが大事ですので、運動教室も実施しています。達成感や苦手意識の克服。運動会に練習した成果を地域の皆さんの前で披露します。そのほか、おえかき教室、クリスマス会など親子の活動も大事にしています。また根羽学園と連携した活動も年間に複数回実施しています。連携と関係性を良好にすることに注力しています。子ども達で話し合っ決めて決めることにも取り組んでいて自分で考えて行動することを大切にしています。運動教室から運動会での披露。節分の豆まきでは先生が連れ去られる、先生を助けるというストーリーを実施して、ミッションを達成した時に達成感を得てほしいと思っていました。怖い豆まきではなく、達成感が得られた豆まきになったのではないかと考えています。地域参加の活動も1回実施しました。子どもたちもすぐに地域に溶け込んで楽しんでいました。来年度は回数を増やして地域の方々との関係を作っていきたいと思っています。保小連携についても引き続き進めていきたいと思っています。現在は年中児が2年後を見据えた保小連携を進めています。そのほか今年度は情報発信にも力を入れてきました。noteでの発信、保護者へのドキュメンテーションの発信を行いました。地域に根差した保育を引き続き展開していきたいと思っています。

(委員)色々取り組んでいただき大変だと思いますが、根羽ならではの外に出た活動をどんどんやっていっていただきたいと思っています。

(所長)下見など大変なこともあります。今後も積極的に実施していきたいと思っています。

(教育長)活動あって学びありだと思います。今後もよろしくお願いします。

(校長)保育所の活動には学校も良い刺激を受けています。

(村長)保育所と学園と一緒に活動して一つになれるような関係になれば良いですね。

5. 報告事項

(1) 部活動の地域展開についての会議報告

(事務局) (資料に沿って説明) 現在の進行状況についてご報告させていただきます。今年度、根羽村部活動地域展開に伴う協議会を開催し、子どもたちのやりたい、やってみたい思いを尊重しながら、地域展開の方法を検討した結果、3つの方向にまとまりました。1つ目として、現在活動している体育協会や文化協会などの地域サークル活動への参加をしていく、2つ目として興味、関心を持ったことへの探求の場となる活動、例えば村営塾で行っていたマイプロジェクトのような活動などになります。3つ目として現在の部活動を地域展開させた根羽学園クラブの3つです。この中で検討が進んでいるのが、現在の部活動を地域展開させた根羽学園クラブについてです。まず、現在の部活動の休日の部分を「部活動の休日展開」していく予定です。このための組織作りの準備として、根羽村型 部活動地域展開協議会の規約と、根羽学園休日部活動の地域移行推進計画(ガイドライン)を作成中です。本日も県のコーディネーターの方2名と、阿智村チャレンジゆう Achi の事務局をお招きして、国の方針、根羽村規模の自治体での取り組み方について助言をいただきました。お手元に準備させていただきました2枚の資料になります。根羽学園休日部活動の地域移行推進計画(ガイドライン)についてですが、本日助言をいただいた中で、活動の主体は「根羽学園クラブ」保護者会が担います。活動の主体は根羽村となり、実施主体が「根羽学園クラブ」が良いのではないかと意見をいただきました。「根羽学園クラブ」実施主体の構成員については、今後検討をしていく予定です。また、保護者会によって選定された指導者が指導するという点についても、今後、検討の必要があると思われます。今後の運営を考えながら、保護者の皆様にご協力いただきながら、負担にならない方法を考えていきたいと思っています。来年度の休日クラブ展開は、現在根羽学園卓球部にボランティアとして指導者にご参加いただいておりますが、保護者、根羽学園とも協議をしながら、卓球部顧問の先生から現在の指導者へ段階的に移行をしていく予定です。並行して平日部活の地域展開について検討を始めていきます。音楽部は、地域展開に向けて指導者と一緒に活動して下さる方を探していくところからのスタートとなりますが、指導者をさがし、休日、平日の地域展開を目指していく予定です。地域展開のあり方の3つの方向のうち、体育協会や文化協会などの地域サークル活動への参加や興味、関心を持ったことへの探求の場となる活動については、今後根羽村型部活動地域展開協議会の中で話し合いを進め、体育協会と文化協会や、その他の村内の団体と協議して、子どもも大人も共に学びの場となるような組織を作っていく予定です。なお、これからの組織作りのため、阿智村チャレンジゆう Achi の事務局には来年度もアドバイザーとしてご助言いただきながら地域展開を進めていく予定です。以上が、部活動の地域展開についての本日までのご報告となります。

(教育長) 今日午前中に地域展開の会議を実施しました。チャレンジゆう Achi の事務局には面倒を見ていただきたいという話をさせてもらいました。このような計画を作って進めていく予定です。保護者会を作って、休日部活をやっていく。謝金は根羽学園クラブで担います。指導者の謝金は受益者負担なので、保護者からもらう必要があると指導を受けました。月 1 千円程度が一般的なようです。根羽では謝金 1 時間あたり 1,500 円、世話役に 1 回 500 円を考えています。財源は国と県の補助を 3 分の 1 ずつ受けられます。地域展開を行うに当たって、公民館の活動の充実、マイプロの充実、休日部活動の 3 本柱でやっていきたいと思っています。

(校長) 卓球部は指導者がいるので良いですが、音楽部は指導者がいなくて不安があります。

(教育長) 指導でなくても、一緒に楽しくやってくれる大人でも良いかと思っています。

(村長) 地域展開のスケジュールはどうなっていますか。

(教育長) 8 年度までに休日部活を移行して、13 年度までに平日まで移行するというスケジュールです。

(村長) 謝金の支払いですが、先生が県からお金をもらうのは大丈夫ですか。

(教育長) 大丈夫なようです。

(所長) 休日移行していく中で、休日までは行きたくないという子どもがいるという話も耳にします。やはり熱が入っている子と入っていない子がいます。部活だから来ているけど、社会体育でも来る子と来ない子がいます。休日は行かないという子どもが出てきても問題ないでしょうか。

(教育長) 今後、指導者と話し合っていくべき点になりますね。

(所長) 保護者負担もいかなものかと思います。行かなくてもよいと思っている親が応援できるかどうか。もし卓球部と音楽部しかないとなった時には所属しない子も出てくるような気がします。

(教育長) 「保護者会」がネックになるかと思っています。保護者の意識を変えてもらう必要があるかもしれません。

(所長) 選択肢を広げていただけるとありがたいです。卓球や音楽が好きではない子どももいます。

(教育長) 別紙のリストの中で検討していただければ良いかと思います。

(所長) やりたいことであれば親は協力すると思います。

(教育長) 今後は複数のクラブに所属するということもあり得ると思っています。

6. その他について

(1) その他について

(教育長) 以上で協議は終わりますが、他に全体を通して何かございますか。

(出席者全員なし)

(教育長) 最後に 1 月分の定例会の会議録の署名をお願いします。

(1 月定例会出席委員が内容を確認し、署名)

(2) 3 月定例教育委員会開催日 3 月 18 日 (水) 午後 3 時 30 分

7. 閉会

午後 5 時 00 分閉会

教育長・教育委員 署名